

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(令和2年度分)

施設名 明々庵・赤山茶道会館
 指定管理者 株式会社山陰中央新報社
 担当課 観光施設課
 指定期間 平成29年4月1日～令和4年3月31日

1. 総合評価

市	A	<p>【優れていると評価した点】 新型コロナウイルスの影響により一時休館を余儀なくされたものの、休館中に来庵者がいる間ではできない箇所の清掃を行った。また、感染対策が難しかったため明々庵記念茶会を中止することとなったが、自主事業としてマスク入りを販売し、好評を得るなど、例年通りの運営が難しい中、工夫をして運営を行っており評価できる。</p> <p>幅広い年代の施設利用者から評価が高く、特に中高生の校外学習の受け入れも積極的に行い、若い世代へ茶の湯文化に対する理解・関心を深める一助となっており評価できる。</p>
		<p>【評価できない、または改善すべき点】 新型コロナウイルスの影響を受け、例年と比較すると大幅に入込数が落ちた。各旅行会社とのタイアップ企画「瑞風の立ち寄り地を巡る旅」は18企画すべて実施できなかったこともあり、今後はより一層、感染予防対策を行いながら、新企画を考案する必要がある。</p>

指定管理者	S	<p>【優れていると評価した点】 自主事業の「松江城大茶会」や「明々庵再興記念茶会」の中止を余儀なくされたものの、県内中学生徒の「城下町松江の茶の湯文化」や松江市内の4高校、島根大学ゼミ生徒の「茶の湯の歴史講座」を少人数ながら実施。また社員研修の一環として「茶の湯と礼儀作法講座」など新規事業も実施。松江城大茶会の中止を受け代替えとした、「松江城マイ茶会」を4日間開催。100人以上の方から応募をいただき、コロナ対策をしながら実施することができた。例年受け入れている中学生の「松江探訪」も例年の4分の1程度の利用となったが実施することができた。また、積極的に雑誌、新聞・テレビの取材を受け入れ、全国に向け30社以上のメディアで、「城下町松江の茶の湯文化」と「明々庵」を発信することができた。</p>
		<p>【評価できない、または改善すべき点】 新型コロナの感染拡大を受け4月上旬から5月末まで休館。また、年明けには首都圏が2度目の緊急事態宣言となり、秋口には回復の兆しが見えていたものの、影響が大きく総入館者数、呈茶収入とも大幅な減となった。少人数での茶会講座は実施できたものの、各旅行会社とのタイアップ企画「瑞風の立ち寄り地を巡る旅」は4旅行会社すべての18企画が実施できなかった。感染対策をしながら、今一度新規企画を考えたい。</p>

2. 施設利用の増減について

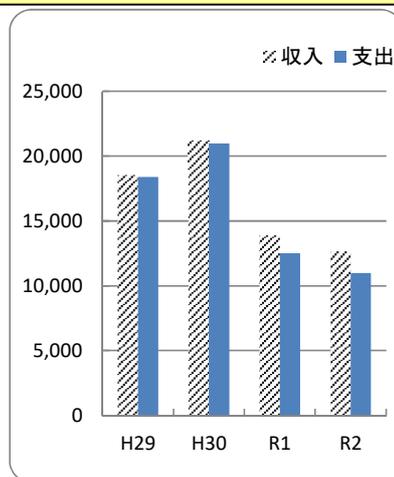
総括	<p>新型コロナの感染拡大を受け4月上旬から5月末まで休館。また、年明けには首都圏が2度目の緊急事態宣言となり、秋口には回復の兆しが見えていたものの、影響が大きく個人の入館者をはじめ、各旅行会社との企画商品もすべてがキャンセルとなり、総入館者数、呈茶収入とも大幅な減となった。また、赤山茶道会館の貸館も各流派の茶会や茶事が中止または延期となり、利用者数が大幅な減となった。</p>

(1) 収支状況の推移 (自主事業を除く) (千円)

項目\年度		H29	H30	R1	R2
施設の収支	収入	18,540	21,126	13,897	12,662
	うち指定管理料	8,866	8,866	8,960	10,250
	うち利用料	9,674	12,260	3,242	2,412
	支出	18,412	20,972	12,513	10,991
	差引	128	154	1,384	1,671

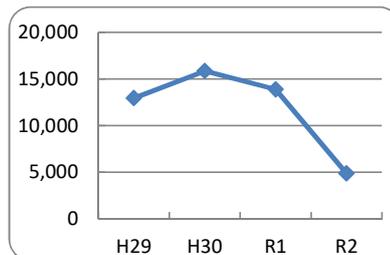
上記以外の市の収入、支出

市の収支	収入(使用料)	0	0	0	0
	支出	1,222	466	1,493	1,749
	うち市の修繕費	782	450	748	0



(2) 利用者の推移

	H29	H30	R1	R2
(人)	12,929	15,839	13,870	4,870



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

- A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
- B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
- C 実績値 : 当該年度の実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する達成度 C/B	基準に対する達成度 C/A
アウトプット	明々庵年間入館者数	9,800	9,800	3,839	39.2%	39.2%
	赤山茶道会館利用者数	2,600	2,600	1,031	39.7%	39.7%
アウトカム	利用者のアンケート満足度	70%	70%	98%		
				達成度平均	39.4%	39.4%

	指定管理者	市
達成度に対する意見	<p>【達成度に寄与した・有効だった取組みの内容、次期に向けた課題】</p> <p>社員研修や在日外国人の「茶の湯講座」を企画し実施した。茶道会館の利用は少人数でのお稽古に限定され、茶会等は開催できなかった。また、アンケートの結果も、茶の湯に対する理解・関心について、非常に理解・関心が深まったが約90%以上を占め、深まった。</p>	<p>【達成度の原因・分析】</p> <p>新型コロナウイルスの蔓延により明々庵・赤山茶道会館ともに入館者数の目標値達成とはならなかったが、利用者アンケート満足度は非常に関心を持ったが約90%を占めるなど高い評価を得ており、充分達成している。</p>

(3)利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
95	①満足している 93件(98%) ②どちらともいえない 0件(0%) ③満足していない 2件(2%)	①良い ・明々庵の歴史だけでなく、お茶の飲み方や、不昧公の事もお話しいただき茶の湯に興味があった。 ・不昧公が庵を建てた理由がよくわかりました。もっと茶道について知りたいと思いました。 ・資料に基づく話を聞いて、部活で習っているお茶の歴史・文化が知れてよかった ②苦情 ・お茶を知らない人でも大丈夫というネットでの情報を見てきたのに、座る場所や、お菓子皿の置く場所などを指摘されて不愉快だった。 ③要望

(4)住民サービス向上の事例

事前予約を頂ければ、「城下町松江の茶の湯文化」や「お茶の歴史」「お茶と出雲神話の関係」などについて、60分程度の解説をする。

3. 自主事業

総括	松江城大茶会や明々庵再興記念茶会の中止を余儀なくされたものの、コロナ対策をしながら、少人数の「茶の湯講座」などを実施した。
実施状況	「松江城大茶会」や「明々庵再興記念茶会」の中止を余儀なくされたものの、県内中学校の「城下町松江の茶の湯文化」や松江市内の4高校、島根大学ゼミ生徒の「茶の湯の歴史講座」を少人数ながら実施。また社員研修の一環として「礼儀作法講座」など新規事業も実施。松江城大茶会の中止を受け代替えとした、「松江城マイ茶会」を4日間開催。100人以上の方から応募をいただき、コロナ対策をしながら実施することができた。例年受け入れている中学生の「松江探訪」も例年の4分の1程度の利用となったが実施することができた。また、積極的に雑誌、新聞・テレビの取材を受け入れ、全国に向け30社以上のメディアで、城下町松江の茶の湯文化と明々庵を発信することができた。

4. 特記事項

特になし

5. 今年度の目標・課題

新型コロナウイルスの影響により入込数が激減したため、引き続き感染予防対策を十分に行ったうえでPR等もしていき入込数の回復に努める必要がある。